



NO.1409  
4月2日号  
発行所  
日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四四三、四四五八  
F 四三、四四五七

# 三月議会 村椿議員の反対討論から 間口除雪の体制を



3月13日から17日まで5日間、わたって予算審査の特別委員会が開催されました。3月22日の本会議で山田庫司郎委員長から審査の報告の後、討論が行われました。

日本共産党議員団を代表して、村椿議員が反対の立場から討論しました。共産党以外の議員は賛成しました。

## 高齢者が生き生きと暮らせるように

一般会計については、人口減少・高齢化が進む中での除雪の際の「置き雪問題」や免許証返納しても公共交通の不十分さにより安心して暮らせないという問題に対して、その解決策が不明確だと指摘しました。高齢者が生き生きと活動、健康維持することができると算にはなっています。

また、ごみ最終処分場の問題では、多額の税金を投入しなければ延命化できない状況にした市の責任は重大である。広域化ありきで進められ、市民はおきざりの状態となっていることを指摘しました。



## ごみ問題 市の責任は重大

また、ごみ最終処分場の問題では、多額の税金を投入しなければ延命化できない状況にした市の責任は重大である。広域化ありきで進められ、市民はおきざりの状態となっていることを指摘しました。

## リニューアルありきでは解決しない

さらに今年1月にリニューアルしたばかりのオホーツク流水館の入館料の値上げについては、入場者数の動向もわからないまま、次のリニューアルに向け基金を積み立てるためとは、まったく理由にならない。市は値上げによって入館者数が減ることも想定しており、入場者数を増やす方策を



検討せず、5年おきのリニューアルありきだけで進めても問題は解決しない。

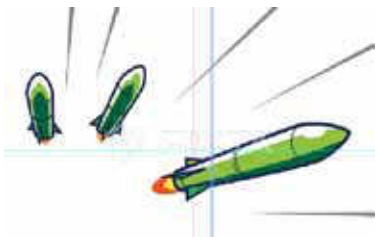
## 給食無償化、補聴器補助 評価します

今回、学校給食の無償化を始めとした子育て政策の拡充や難聴者への補聴器の補助制度など評価するものはありますが、総体として反対すると述べました。

また、国民健康保険、網走港整備、介護保険、後期高齢者医療の4つの特別会計について反対しました。

## これでいいの？大軍拡！⑥

「トマホーク」は迎撃されやすいので、米軍は「飽和攻撃」といって一度に大量に発射するそうです。イラク戦争のときには、120発もの飽和攻撃をしたとのこと。そのため、イラクでは多くの民間人が死傷しました。撃ち落されることを想定して「大量に発射したら、何割かは目標に届く」というのですから、何という壮大なムダ遣いでしょうか！



(つづく)



第1回定例会が3月22日に閉会しました。後半は新年度予算の審査があり休日がなかったため、首から肩、背中が張って苦しかったです。でも、村椿議員が反対討論を行い何とか無事に終了しました。議会閉会後は、選挙モーターに入り月末の集金や後援会員宅の訪問活動に全力を挙げています。

今回の選挙は、4年前と比べると取り組みが遅れているため、必死で訪問活動をしています。しかし、依然として「松浦さんは大丈夫でしょう」という楽観論が根強くあるのも現実です。現時点では大丈夫などという状況では全くないので、そのことを説明して支持を広げていただくようお願いしています。選挙は、投票箱の蓋が閉まるまで分からないと言われるように、油断禁物です。私は、2期目の挑戦の時に落選しているので、「同じ轍は踏まない」覚悟でたたかっていますので、お力をお貸しくください。



先日、挨拶に伺った際に、日本が食糧難になる日がすぐそこに来ている。何とかしてほしい。と言われました。

今、日本の農業は危機的な状況です。肥料、飼料は高騰し、国が補填をしていますが、足りません。離農する農家や酪農家が増えています。一方でアメリカから輸入している米は1俵1万4千円で、日本の米農家より高い金額で買っています。野菜の種も輸入、鶏卵のヒヨコは全て輸入されています。

政府は国を守るといいますが、食べている物が輸入されなくなったらと想像してみてください。ブティックアウトの時、物流が止まっただけでスーパーから食品がなくなりまし。軍事の拡大より、何よりも国民が飢えないようにするのが第一です。今の日本の農政は市場まかせにして、自国で生産するために農業者を守るといふ視点が欠けています。今、日本で何が起ころうとしているのか、多くの人に知らせて、政治を変えるため頑張ります。

## 流水

夫の母は、95歳になリます。直接食事が摂れなくなつて、介護施設から病院に入院しました。

コロナ禍のため面会もできず、会えたのは1年前になります。和裁も上手で、着物をリフォームした綿入れも家族分作ってもらいました。農業を営んでいたもので、手も節くれだつていました。その強い手で重労働をこなし、おいしい野菜や米をつくり5人の子どもを育て上げました。その子ども達がお母さんを支えています。

▼昔は家族が親の介護をしてきました。今は少子超高齢時代です。子どもが少なくなり、介護施設などを増やし、それを利用する高齢者は増えました。しかし、介護する人が少なくなっています。それは、介護する人の賃金が上がると保険料が上がる仕組みにした介護保険制度を政府がつくったからです。これは、見直して、介護や医療現場で働く人が働き続けられる環境をつくるべきです。▼自分の親にやさしく接することができずに悩む人がいます。どうしたら、この苦しみから救われるか人生相談したいです。

